

鳥取県西部地震 2000.10.6

日野町の災害・復興への記録



新しい活力の創生を

日野町長 生田 秀正

激動の20世紀が閉幕する寸前の秋、10月6日13時30分、鳥取県西部を震源とする大地震が突如として発生しました。

本地震は、記憶に新しい阪神・淡路大震災の数値をしのぐ大地震であったにもかかわらず、死者はなく、火災発生ゼロで、まさに不幸中の幸いでした。しかし住宅被害は、西部でも最も多く全半壊570戸、一部破損945戸、国・県・町道の道路網、学校・病院・JR等公共施設、農地・農林業施設をはじめライフライン等に大きな被害を受けました。

震災復旧・復興に向けては、国・県の絶大なご支援の下、町政の最重要課題として、震災復興元年と位置づけ、『今こそ愛と元気なまちづくり』を合い言葉に、町をあげて全力を傾注しているところです。

復興に際しては、住宅再建を中心とする補助支援制度を創設いただいた、片山鳥取県知事のご英断に改めて、衷心より感謝申し上げます。心配しておりました人口流出も最少限に留めることができました。一周年を経て10月末現在、復興率も54%と進んでおります。

町といたしましては、特に久住地区への県道災害復旧に力を注ぎながら、もとの元気と新しい活力の創生を期待し、大地震の教訓を風化させないため、ここに「日野町の災害・復興への記録」を発行し、将来にわたって防災意識の高揚をはかり、防災体制等の一層充実に努め、安心して住める“災害に強い町づくり”に努力いたす考えであります。

地震発生以来、災害復興に多大のご支援、ご尽すい賜りました関係者みなさまに、心から感謝申し上げ、ごあいさつといたします。



元気いっぱいな日野町に

鳥取県知事 片山 善博

平成12年10月6日、鳥取県西部を震源とする「鳥取県西部地震」が発生し、最大震度は、日野町や境港市で震度6強を記録するなど、大きな災害となりました。

この地震では、幸いにして死者はありませんでしたが、県西部地区を中心に、住宅や、公共施設などに大きな被害をもたらし、日野町においても、負傷された方が14名、住宅の全壊、半壊は計570戸に達し、また、道路や農地などにも深いつめ跡を残すなど、大きな被害がありました。

改めて、被害を受けられました町民の皆様に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、地震発生から1年を迎え、町民の皆様と行政が一丸となった取組みをされ、町外への人口流出もほとんどなく、復興が着実に進んでいることに対し、心から敬意を表したいと思います。

県といたしましても、被災者の方の生活再建と被災地の復興は、引き続き、県政の最重要課題と位置づけ積極的に取り組んでいくとともに、今回の地震の教訓を踏まえ、防災体制の整備、充実等、災害に強い県土づくりに一層努めてまいりたいと考えております。

終わりに、災害対策から災害復興に御支援、御尽力をいただいた関係者の方に、心から感謝申し上げます、日野町における一日も早い、生活再建、復興を祈念いたしまして私のごあいさつといたします。

目 次

| | |
|-------------------|-----|
| 日野町長あいさつ | 2 |
| 鳥取県知事あいさつ | 3 |
| 目 次 | 4 |
| 被災状況とその対応 | 5 |
| 震災から復興へのあゆみ | 9 |
| わたしの震災体験記 | 29 |
| コミュニティ活動記 | 53 |
| 日野町震災シンポジウム | 57 |
| 震災記録 | 65 |
| 町職員活動記録 | 79 |
| その他の資料 | 91 |
| 広報ひの | 92 |
| 新聞報道 | 102 |
| 防災意識調査結果 | 105 |
| 日野町全図(地震関係) | 108 |
| 家屋損壊状況ほか | 110 |
| 交通規制図 | 111 |
| 編集後記 | 112 |

被災状況とその対応



ブルーシートの屋根が並ぶ下榎地区（地震による被害は日野町全戸に）
（写真：岡山県・堀家純一氏、平成12年10月撮影）

被災状況とその対応

平成13年10月30日現在

平成12年10月6日(金) 13:30地震発生 震度6強 (M7.3)

平成12年10月6日現在(住民基本台帳) 世帯数…1,575世帯 人口…4,622人

平成13年10月1日現在(住民基本台帳) 世帯数…1,567世帯 人口…4,519人

1. 人的被害 (確定)

- (1) 死者 なし
- (2) 行先不明者 なし
- (3) 負傷者 14人 (重傷4人、負傷10人)

2. 火災発生 なし

3. 住宅被害 (り災証明のための家屋被害調査・確定)

| | | |
|------|--------|----------|
| 全壊 | 129戸 | (8.5%) |
| 半壊 | 441戸 | (29.1%) |
| 一部破損 | 945戸 | (62.4%) |
| 計 | 1,515戸 | (100.0%) |

(60戸は公営住宅・官公署住宅等であり調査から除外)

4. 避難状況 (確定)

| | | |
|------|-------------------------|--------------------|
| 避難所 | 開所12か所 | 最大避難930人 (10月7日現在) |
| | 10月6日現在…900人 | 10月8日現在…421人 |
| | 10月9日現在…368人 | 10月17日現在…19人 |
| | 10月18日現在…26人 (震度4の地震あり) | |
| | 10月26日現在…18人 | 10月30日現在…6人 |
| | 11月13日現在…5人 (避難所閉鎖) | |
| | 延日数…39日 | 延人員…3,834人 |
| 避難勧告 | 2か所 33戸 (77人)、7事業所 | (平成12年10月13日解除) |

5. 応急仮設住宅 (平成12年11月13日現在)

| | |
|-------|----------------------------|
| 第1次仮設 | 24戸(10月25日締切分23戸に10月28日入居) |
| 第2次仮設 | 4戸 (黒坂団地に増設) |
| 計 | 28戸 (72人) |

6. 家屋の解体処理 (終了)

| | | |
|------|------|---------------------------------|
| 件数 | 322件 | 申請受付 平成12年10月17日～11月15日 (306件) |
| ・母屋 | 173棟 | 平成12年12月29日現在…解体処理済297件(97.06%) |
| ・長屋 | 48棟 | 申請受付 平成13年3月15日～3月30日 (16件) |
| ・蔵 | 69棟 | |
| ・その他 | 213棟 | |
| 計 | 503棟 | |

7. 住宅応急修理事業（終了）

24件 7,931,247円

8. 高齢者等生活支援助成金支給事業（終了）

257件 23,035,394円

9. 災害援護資金貸付事業（終了）

33件 92,300,000円

10. 被災者生活再建支援事業（平成13年10月30日現在）

180件 72,551,315円

11. ボランティア（平成13年9月30日現在）

延べ人数…3,750人 内訳（県内…2,043人、県外…1,707人）

12. 地震災害復興対策事業（平成13年10月30日現在）

| 区 分 | 確認申請 | 補助金交付申請状況 | | 事業完了状況 | | 進捗率 |
|------|--------|-----------|-------------|--------|-------------|-----|
| | 件 数 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | |
| 住宅建替 | 112件 | 43件 | 129,000千円 | 43件 | 129,000千円 | 38% |
| 住宅補修 | 1,051件 | 798件 | 749,850千円 | 498件 | 640,117千円 | 47% |
| 石垣補修 | 437件 | 300件 | 288,871千円 | 287件 | 285,657千円 | 66% |
| 井戸補修 | 96件 | 82件 | 29,852千円 | 82件 | 29,852千円 | 85% |
| 合 計 | 1,696件 | 1,223件 | 1,197,573千円 | 910件 | 1,084,626千円 | 54% |

※ 補助金交付申請件数は分割払いのため延件数。確認申請及び事業完了件数は実件数

地震災害復興対策事業の内容・負担区分

| 事 業 名 | 内 容 | 負 担 区 分 | | | 備 考 |
|-----------|------------|---------|-------|-------|----------|
| | | 県 | 町 | 個人負担 | |
| 住宅建築費補助金 | 限度額3,000千円 | 2 / 3 | 1 / 3 | なし | |
| 住宅補修費補助金 | 限度額1,500千円 | 1 / 2 | 1 / 2 | なし | 50万円未満 |
| | | 1 / 3 | 2 / 3 | なし | 50～150万円 |
| 石垣・擁壁等補助金 | 限度額1,500千円 | 1 / 3 | 2 / 3 | なし | |
| 井戸補修費補助金 | 限度額 450千円 | 3 / 8 | 3 / 8 | 2 / 8 | 事業費600千円 |

13. 災害査定結果（平成13年8月30日現在）

（ ）は未決定

| 区 分 | 内 容 | 査 定 額 | 査 定 比 較 |
|-------------|--------------------------------|-------------|-----------|
| 道路関係 | 町道修繕41件 L=4,473.9m | 577,529千円 | 93.46% |
| 農業関係 | 田畑1.36ha、農道14件、橋梁3件、水路12件、ため池1 | 178,017千円 | 80.95% |
| 林業関係 | 13件・41か所 | 108,554千円 | 88.13% |
| 保育所 | 根雨保育所、日野保育所、黒坂保育所 | 8,525千円 | 47.57% |
| 水道関係 | 根雨・下榎・下黒坂・上菅地区簡易水道 | 10,509千円 | 84.60% |
| 学 校 | 日野中、根雨小、黒坂小 | 29,375千円 | 74.67% |
| 災害廃棄物関係 | ①家屋の収集・運搬・処理（国1/2補助） | (366,553千円) | (83.49%) |
| | （町） | (72,483千円) | |
| | ②家屋の解体（県1/2補助） | (272,820千円) | (100%) |
| | ③仮置場管理（県1/2補助） | (23,906千円) | (100%) |
| | 小 計 | (735,762千円) | (100%) |
| 合 計（未決定を含む） | | 1,648,271千円 | (93.31%) |

※特に被害が大きい水路及び受益面積等 ※町水田面積:320ha、(内転作面積:115 ha)

| | | | |
|--------|----------|------|-----------|
| 小河内水路 | L=3.1 km | 20戸 | A=6.5 ha |
| 根妻水路 | L=1.0 km | 4戸 | A=1.8 ha |
| 下榎安原水路 | L=3.4 km | 61戸 | A=15.8 ha |
| 本郷水路 | L=7.4 km | 65戸 | A=19.6 ha |
| 計 | 14.9 km | 150戸 | 43.7 ha |

14. 地震災害復興予算 (平成12年11月10日議会臨時会)

約55億2千万円 (平成11年度一般会計決算額約36億7千万円)

15. 地震災害復興予算 (平成13年4月現在)

(単位:千円)

| 年度 | 予算額 | 国県補助金 | 起債 | 県貸付金 | その他 | 一般財源 |
|--------|-----------|-----------|---------|-----------|-------|---------|
| 平成12年度 | 2,705,733 | 1,482,946 | 108,200 | 768,400 | 4,034 | 342,153 |
| 平成13年度 | 2,428,057 | 1,109,196 | 102,900 | 1,206,900 | 2,661 | 6,400 |
| 合計 | 5,133,790 | 2,592,142 | 211,100 | 1,975,300 | 6,695 | 348,553 |

16. 生活道路の確保 (平成13年10月30日現在)

黒坂から久住集落(21戸)へ通じる一般県道菅沢日野線が被害を受けて約4kmの区間が全面通行止めとなった。代替え道路として、大規模林道日野金城線を整備中(平成14年3月開通予定)。

17. 特記事項

- ・「日野町災害対策本部」を平成12年10月6日から11月15日まで設置
- ・「日野町地震災害復興本部」を平成12年11月1日に設置し、現在に至る
(「今こそ愛と元気なまちづくり」を合い言葉に)
- ・「地震災害住宅復興室」を平成13年1月1日に設置し、現在に至る

18. 義援金等

平成13年10月10日現在

| 区分 | 金額 | 備考 |
|-----------------|-------------|------------------|
| 鳥取県西部地震義援金配分委員会 | 53,522,000円 | 県見舞金 |
| 鳥取県西部町村会 | 8,435,039円 | |
| 鳥取県市町村振興協会 | 6,030,000円 | |
| 一般分 | 24,522,903円 | 行政、会社、団体、個人 505件 |
| 合計 | 92,509,942円 | |

義援金(見舞金)の支給

| 支給 | 区分 | 内容 | 単位 | 金額 |
|-----|------|-----|------|------------|
| 第一次 | 県見舞金 | 全壊 | 1戸 | 100,000円 |
| | | 半壊 | 1戸 | 35,000円 |
| | | 重傷者 | 1人 | 70,000円 |
| 第一次 | 町給与 | 全世帯 | 1戸 | 15,000円 |
| | | 自治会 | 1自治会 | 1戸当り5,000円 |
| 第二次 | 町給与 | 全世帯 | 1戸 | 17,000円 |

義援物資

| 義援物資元 | 件数 | 主なもの |
|-------|-----|-----------------------------------|
| 行政、団体 | 153 | 飲料水、米、パン、菓子、果物、インスタント食品などの食料 |
| 会社、個人 | 480 | タオル、毛布、衣類、軍手、カイロ、ストーブ、外灯、ブルーシートなど |

震災から復興へのあゆみ



地震発生後ただちに自主避難を呼びかけ、1日最大930人が近くの避難所に（日野中学校体育館）



ドーン、ガタガタ、大きな揺れが約1分間続く、まさか震度6強の大地震が発生しようとは…（黒坂地内）



役場庁舎も被害が生じた



次々と発生する余震に不安がつのる（役場前駐車場）



初めての体験に、だれもがぼうぜんとなった（黒坂地内）



和牛も興奮気味、安全な場所に避難（安原地内）



家屋被害は、全壊129戸、半壊441戸、一部破損945戸、計1,515戸の全世帯におよんだ(下榎地内)
(写真：読売新聞大阪本社)



震源に近い黒坂、下黒坂、下榎などに大きな被害をもたらした(黒坂地内)



外見は良くても柱が傾いた家屋（下榎地内）



震源に近いところでは家財道具が散乱した（黒坂地内）



住宅の周りの石崖や擁壁が崩れる被害も発生（下黒坂地内）



壁が落ちるなど土蔵の被害が多いのも特徴（別所地内）



J A日野町支所米倉庫内で崩れた米袋（本郷地内）



墓石の倒壊も激しい（黒坂地内）



地震の影響で道路に2m以上の段差ができる (下黒坂地内)



JR伯備線も山林の土砂崩れのため20日間にわたって一部不通に、その間バスで代替輸送（下黒坂地内）



あちこちで通行止めなどの規制、う回路を探す（国道180号・本郷地内）
（写真：読売新聞大阪本社）



国道の数が所に土砂が流出し、道をふさいだ（国道180号・本郷地内）



路面の亀裂や沈下が多く見られた町道（下黒坂地内）